

宝永隧道(今村マブ)

1704年に今、赤星、森北地区の約100haの水田への灌漑用水のために、山を掘削して作られた隧道(水のトンネル)です。

全長約302mを175日間で完成させたこの事業は、三代目河原左衛門の三大事業の一つとされています。



認定番号第ふるさとH22-5号 推薦者 宝永隧道管理委員会

赤星井手

徳川の初期、加藤肥後守清正公が、熊本城主として肥後の国五十四万石を管領した天承の末期から慶長年間において、治山治水の諸施設の整備は行われたと思われま。准水区域は赤星、出田の二大字になります。

北は菊池川、南は花房台地に挟まれた赤星平野の美田もその時代に作られました。



認定番号第ふるさとH22-6号 推薦者 赤星区

東山公園

南北朝時代、北朝方の大友勢が南朝方の菊池一族を攻めて来た時に、菊池勢が陣を敷いた所が東山公園一帯と伝えられています。

公園内には城家の塚といわれる石棺があります。

地域おこしの一環で、一の公園、二の公園、遊歩道などが整備されています。



認定番号第ふるさとH22-7号 推薦者 上木庭区

人権同和教育シリーズ ⑦

七城中学校(平成22年度卒業) 脇黒丸 遥

障がいとは

「ばあちゃん、またつこけたの」

ちようど10年前のことです。祖母の歩き方がおかしいと感じ始めました。まだ58歳の時でした。最初は太っているせいだと思いましたが、いつか治る様子もなく、だんだん悪化しているようだったので、昨年の秋に病院へ行きました。祖母は、心臓も弱く、一度入院したことがあったので、とても心配でした。現在では、心臓の薬を毎日9つ飲んでいますが、足のほうは、病院で診断してもらいましたが、もう治らないと言われました。それでも、普通の人は、何も変わらない生活をしています。しかし、祖母は「障がい者」という一つの枠の中に入れられてしまいました。

そもそも、普通とはどういうことなんだろう。障がいとはどういうことなんだろう。皆、同じ人間なのに、なぜ区別しなければいけないのだろう。障がいのある人もない人もできること

だってあるし、できないこともたくさんあると思います。完璧な人なんていないんだから。少し歩くのに手助けがいるだけ、お風呂に入るのを少し手伝ってもらうだけ。ほんの少し、周りから手をかしてもらえれば、何でもできます。そして、やろうと努力しています。どうかそういうことを分かってください。私も祖母が「手伝って」と言ったら手伝うようにしています。時には、少しイライラして手伝わなかったこともあったし、きつく言う時もありました。でも一番辛いのは、祖母だと気づきました。今までできていたことができなくなると、とても辛かったと思います。自分が嫌になったこともあったと思います。そんな祖母のことを考えたら、私にできることなら手伝ってあげようと思いましたが、続けてきました。祖母は、料理が得意です。祖母は、おしゃべりが上手です。良い所を出したらい切れません。もちろん悪い所だってあります。でも全部含めて、私は、祖母のことが大好きです。

「障がい」それは、決してだめなこと、いけないことではありません。辛いこと、楽しいこと、大変なことなど、色々なこ

とがあります。でも、それを乗り越えた時、今まで気づかなかったことや、新たなことが見えてくると思います。現在では、障がいのある人が活躍できる場が増えてきています。障がいがあっても負けずに頑張っている人はたくさんいるのです。たくさん努力しているのです。

英語の教科書に目が不自由な人の話がありました。その人は、水泳の大会でいくつものメダルをとり、なんと夢だった学校の先生になれたそうです。生徒一人一人の声を録音し、全部覚えていたそうです。私は、それを読みとてもすごいと思いました。

皆、持っているものは違う。障がいがある人もない人も皆人間です。同じなんです。自分の個性を生かし、自分らしく生きていくことが大切なんだと思いました。

そして、これからも家族と一緒に、祖母を支えながら楽しく暮らしていきたいです。



認定番号第ふるさとH22-7号 推薦者 上木庭区

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

～菊池～

こんな人・・・こんな所・・・

期間：7月2日(土)～7月13日(水)

映像や展示を観ながら一寸一服。

禮樂寮 器展

期間：7月15日(金)～7月18日(月)



竹細工展

期間：7月20日(水)～8月7日(日)

竹から作り出されたさまざまな作品をご覧ください。

期間中の土、日曜日は体験教室を開催します。

体験料 500円

期間中の休館日はありません。

菊池夢美術館へぜひお越しください。

開館時間 午前9時～午後6時

夏の「子ども村」

夏の思い出づくりに友だちとキャンプに参加しませんか？

「子ども村」は子どもが主役です。自然の中で思いっきりいろいろなチャレンジができます。

廃校となった校舎を拠点に、自然体験や農作業はもとより、川遊び・運動会と子どもたちはパワー全開です。たくさん仲間と一緒に来てください。

対象 小3年～中3年 期間 8月16日(火)～8月20日(土) 4泊5日 参加費 1万円(保険料込)



ゆったりとした時間・自然に囲まれた豊かな空間の中で、みんなで集い、いろいろなことを体験しながら、仲間への心遣いも学んでいます



韓国発見シリーズ ⑭ 20回目の今回は「済州島」について紹介します。



菊池市役所 国際観光マネージャー 金 相廷さん

韓国の最南端に位置する済州島は、ユネスコから「生物圏保全地域」「世界自然遺産」に引き続き、2010年「世界地質公園」の認証を受けた。これですべて初めて「自然景観および環境分野3冠王」を獲得したことになる。さらに、2011年スイスに本部があるNPO「ニューセブンワンダース」は、地球上で最も独特かつ神秘的な景観の7地域を選ぶ「新・世界7不思議」の候補地に済州島を選定した。

各国から申し込まれた440カ所は3回の審査が行われ、現在済州島を含む28の地域が最終的な候補地として残っている。2011年11月10日までは、世界中の人々による投票で「世界7大景観」が確定されると言う。東アジアでは済州島が唯一残っている。済州島は、世界でも類のない多様で独特な火山地形と海岸の自然景観とが融合した名勝地を数多く有している。例えば、溶岩洞窟が世界で一番多く、これまで発見されただけで100カ所を超える。中でも世界最長の

とががあります。でも、それを乗り越えた時、今まで気づかなかったことや、新たなことが見えてくると思います。現在では、障がいのある人が活躍できる場が増えてきています。障がいがあっても負けずに頑張っている人はたくさんいるのです。たくさん努力しているのです。英語の教科書に目が不自由な人の話がありました。その人は、水泳の大会でいくつものメダルをとり、なんと夢だった学校の先生になれたそうです。生徒一人一人の声を録音し、全部覚えていたそうです。私は、それを読みとてもすごいと思いました。皆、持っているものは違う。障がいがある人もない人も皆人間です。同じなんです。自分の個性を生かし、自分らしく生きていくことが大切なんだと思いました。そして、これからも家族と一緒に、祖母を支えながら楽しく暮らしていきたいです。